

2018年10月16日

各位

大型TV用光学フィルムの製造ライン新規増設を決定

～福井県敦賀市にて、世界最大幅のフィルム生産へ～

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（社長：田中公章）は、福井県敦賀市の光学フィルム工場において、大型TV向け位相差フィルムの製造ラインを新規増設することを決定いたしました。2020年4月の量産開始を予定しています。

当社は、光学フィルム（製品名：ZeonorFilm[®] 以下、ゼオノアフィルム）を、当社グループ企業で製造子会社である株式会社オプテス北陸工場の3拠点：高岡製造所（富山県）、氷見製造所（富山県）、敦賀製造所（福井県）で製造しています。

ゼオノアフィルムは、当社が独自のポリマー設計技術で開発した熱可塑性プラスチック（シクロオレフィンポリマー）を、世界初となる溶融押出法により生産された光学フィルムです。シクロオレフィンポリマーの特性である高い光学特性と優れた寸法安定性を有しており、大型TVやモバイル機器のディスプレイに、視野角補償や反射防止等の機能を持たせる位相差フィルムを中心に需要が拡大しています。

今回の投資は、液晶パネルの大型化に対応するもので、特徴として世界最大幅（2,500mm幅クラス）の位相差フィルムの生産を可能としたものです。新ラインの生産能力は、年間5,000万㎡の計画であり、既設の能力と併せて、TV向け位相差フィルムの生産能力は16,900万㎡となります。当該用途の生産拠点を、富山県並びに福井県敦賀市に分散させることになり、BCPの観点からも有効な対策と考えております。敦賀地区での既に購入済みの敷地に新規設備を建設します。

量産開始は2020年4月を予定しており、操業人員の新規雇用を計画しております。

【投資計画概要】

・建設場所	敦賀市産業団地日本ゼオン敷地内（敦賀市筋生野）
・土地面積	約3.2ha
・建物面積	約9,700㎡
・延床面積	約13,000㎡
・新規雇用	20～30名程度
・着工	2019年2月（予定）
・竣工	2019年12月（予定）
・事業内容	液晶テレビ向け光学フィルムの製造

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 CSR 統括部門 広報室 電話：03-3216-2747